

日本の民話

かくやひめ  
(絵本の表紙)

佐賀の民話  
(絵本の表紙)

かさこじぞう  
(絵本の表紙)

世界の民話

- ・ 読みたい本がたくさんある。
- ・ いろいろな国の民話を知りたい。

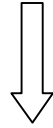
おもしろいところ  
・ じぞうさまが動くところ  
・ じぞうさまが米や野菜をもってくるところ  
「じよいやま」  
(かけ声)  
楽しさ・意外さ  
言い方

単元のめあて

世界の民話のおもしろさをカードでしようかいしよう

まず、

「木かげにころり」



次に

「世界の民話で」

場面のうつりかわりと人物のようすや  
気持ちを読み取ることができる。

民話のおもしろさを見つけることができる

しょうかいカード  
あらすじ  
おもしろかったところ

【1 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート…  
活動のねらい

学習の見通しをもち、世界の民話を興味をもって読もうとしている。

1 知っている日本の民話について発表する。

日本の民話の表紙(カラー)、「ピー」等でもよいでしょう)を基にして、知っている民話についてどんな話を発表し合う。

\* 「こ」では、民話についての興味・関心を引き出すよう工夫します。

2 外国にも民話があることを知り、読んだ民話を紹介するという単元のめあてを確認する。

外国の民話の絵本を見せ、簡単な内容を話し、おもしろい話がたくさんあることを知らせる。

\* 「さんねん峠」「すんだことはすんだこと」など、教科書<sup>9</sup>、<sup>4</sup>ページを参考にします。みんなが民話のおもしろさを知ることができるように、「こ」「こ」世界の民話のおもしろさをカードでしようかいしよう」というめあてをもたせる。

(発問) 紹介カードにはどんなことを書いたらよいでしょう。

紹介カードには、あらすじとおもしろかったところを書くことを決め、単元を通して身に付ける力を提示し、意欲をもたせる。

\* あらすじのまとめ方は、六月単元「ゆづすげ村の小さな旅館」で学習していることを踏まえて、本単元では目的に応じたあらすじを考えさせます。まとめることがうまくできない児童が多い場合には、本単元で十分な指導を行う必要があります。

3 大まかな学習の計画を立てる。

「木かげにころり」でカードを書く練習をする 世界の民話を読んで紹介カードを書く

【評価】学習の見通しをもち、世界の民話に興味をもって、進んで読もうとしている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

学習の見通しについてふりかえりを書かせる。

「木かげにころり」を読み、カード作りを始めることを知らせる。

単元のめあて

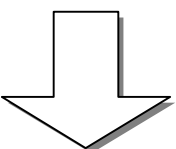
--

まず、

木かげにしろりで

次に

世界の民話で



--	--

--

しゅつがいカード

今日の学習をふりかえりましょう。

よくできた

だいたいできた

もつすこし

これからどんな勉強をするかわかりましたか

おおまかな学習のすすめ方がわかりましたか

世界の民話のおもしろさをしようかいしよう  
木かげにころり (朝せん半島)  
めあて

おひやくしよつたちや地主がどんな人物かとらえよう

場所

- ・ のどかな村
- ・ 木かげ
- ・ 地主の家
- ・ 門
- ・ 広場
- ・ 中庭
- ・ 板の間

とうじょう人物

- ・ おひやくしよつたち
- ・ 地主

学習計画表

時	学習すること
1	単元のめあてを決める。
2	おひやくしよつと地主についてカードに書く。
3	木かげののびについてカードに書く。
4	「木かげにころり」のおもしろいところをカードに書く。
5	「木かげにころり」のおもしろいところをカードに書く。
6	自分で選んだ世界の民話のしようかいカードを作る。
7	
8	世界の民話をみんなにしようかいしよう。
9	学習をふりかえろう。

世界の民話を読んでしようかいしたい本をえらんでおく

学習計画表は完成したら外して近くの壁などに移して掲示することで、常に学習の見通しを意識させることができます。

学習計画表の完成後に提示する。

おひやくしよつたち

- ・ はたらき者
- ・ みんな助け合っている
- ・ 仲がよい
- ・ やさしそう

地主

- ・ よくばり
- ・ なまけもの
- ・ きびしい
- ・ いばっている

学習したこと

とうじょう人物のことを調べるには物語の ( ) はじめ ( ) を読むとわかる。

【2 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート… 紹介カード (木かげにころり) 活動のねらい

叙述や挿絵を基に、百姓たちや地主がどんな人物かとらえることができるようにする。

1 教師の範読を聞き、物語の舞台や登場人物をとらえる。

(発問) お話の場所はどこでしょう。また、登場人物はだれでしょう。

場所や登場人物を本文から探し、ワークシートに書く。

「のどかな村」は物語の舞台、広場・中庭・板の間は地主の家に含まれることを確認する。

「木かげにころり」では、木かげの変化と登場人物の関係について読み進めていくことを知らせ、学習計画表に書きこむ。

2 百姓たちや地主がどんな人物か考える。

(発問) お百姓たちや地主は、どんな人でしょう。教科書から分かる言葉を探しましょう。

百姓たち、地主のことがわかる言葉に線を引き、ワークシートに書く。

言葉からどんな人かを想像し書いてもよい。

3 紹介カードに百姓たちや地主のことについて書く。

板書を基に、紹介カードに百姓たち、地主のことをそれぞれ一文で書く。

書き始めを「おひやくしよつたちは」「地主は」と示す。

【評価】百姓たちや地主の性格や状況(人物像)を、叙述や挿絵を基に想像し、紹介カードにまとめることができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

登場人物の人物像が物語の冒頭部分に書かれていることを押さえる。

学習計画表に基づいて、見通しをもって学習していくことを確認する。

次時は、百姓たちについて学習することを知らせる。

めあて

おひゃくしゅうたちや地主がどんな人物かをとりえよう。

場所やとっじょう人物について調べよう。

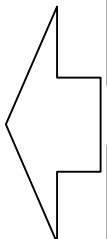
場所

とっじょう人物

おひゃくしゅうたち、地主はどんな人が調べよう。

おひゃくしゅうたち

地主



おひゃくしゅうたちと地主の「しんせきしゅうかいカード」書

しゅうかいカード

今日の学習をふりかえりましょう。

よくできた

だいたいできた

もうすこし

おひゃくしゅうや地主がどんな人物かを、文しゅうから見つけて考えることができましたか

とっじょう人物のことを調べるには物語の

（ ）を読むとよくわかる。

世界の民話のおもしろさをしようかいしよう

木かげに「ろり」 (朝せん半島)

めあて

「木かげに「ろり」しようかいカードに、木かげののびについて書こう」

夏 ← 秋

場面がかわっていく

時を表す言葉	木かげののび
ある夏の日	広場まで
それから一月ほどたった夕方	門の前まで
また一月ほどたった夕方	中庭まで
秋風がふきはじめてたころ	中庭まで
夕方になると	板の間まで
そのうち	上まで
そうしている間に	見えな
真夜中	

木かげ だんだんのびていく

広用紙に書いて、次の時間でも活用する。

木かげがのびていく絵を貼る。

☆あらすじ (みんなのお話です)

- だんだん木かげはのびていきました。
- 秋が深まるにつれて、木かげはのびていきました。
- 夏から秋になるにつれて、木かげはのびていきました。

学習したこと

(季節を表す言葉・時間を表す言葉) に気をつけて読むと (場面) を分けることができる

時を表す言葉と木かげの伸びの関係を一文にしています。

【3 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート：③ 紹介カード (木かげに「ろり」) 活動のねらい

木かげの伸びと時の移り変わりを関係付けて読むことができるようにする。

1 音読をして時と木かげの伸びがわかる言葉をさがす。

- (発問) 時や木かげの伸びがわかる言葉はどれでしょうか。
- 時の変化を表す言葉と、木かげの伸びがわかる言葉を抜き出して、ワークシートに貼らせる。

2 時と木かげの伸びの関係について考える。

- 発表させ、時系列に広用紙に書いていく。黒板には木かげの絵も一緒に提示する。
- 時間で文章を区切ると、場面ごとに分けることができることを押さえる。
- (発問) 時と木かげはどのように変わっていったでしょうか。
- 木かげがどうなっていたか考えさせ、数名に発表させ板書する。
- 二つの関係を表現するのに適した言葉には赤線を引く。
- \* 季節が夏から秋に変わるにつれて影が長くなることについては、子どもたちに考えさせる必要があるでしょう。秋になると影が長くなるというのを上手に利用したところにこの民話のおもしろさがかくれています。

3 「木かげに「ろり」しようかいカードに、木かげの伸びについて書く。

- 板書を参考にして、適切な言葉を選んで書くように促す。

【評価】 木かげの伸びを時間の経過と関係付けて読むことができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

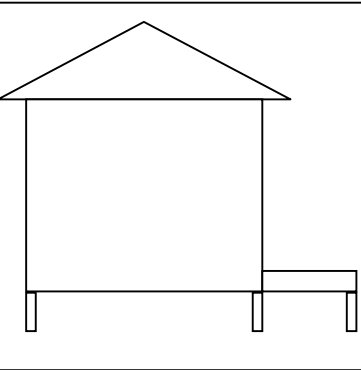
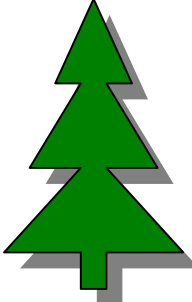
- 場面の移り変わりを、季節や時間を表す言葉から読み取ったことを振り返らせる。
- 次時は、登場人物について学習することを知らせる。

木かげにごろりワークシートの1・2年組号名前

めあて

「木かげにごろり」しょうかいカードに木かげののびについて書いて

時、木かげ、おひゃくしょうたち、地主のようすを調べよう。

時を表す言葉	木かげの絵	木かげののび
		

今日の学習をふりかえりましょう。よくできた だいたいできた もつすこ

場面のようすのうつりかわりを読み取ることができましたか	
木かげののびと人物のかんけいを読み取ることができましたか	

# 木かげに「ろり」

朝せん民話

あらすじ（こんなお話です）

山をこえ、七つの山をこえた山里に、それはのどかな村がありました。

おもしろかったところ

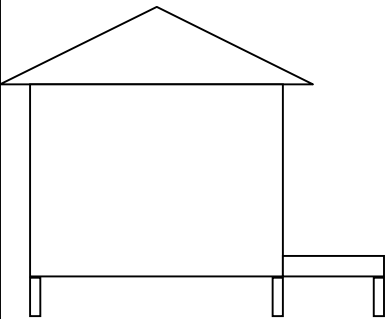
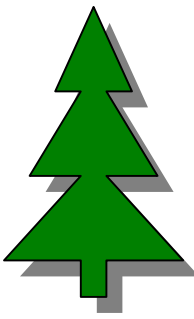
その理由

木かげにじろりワークシートの2 3年 組 号 名 前

めあて

「木かげにじろり」のおもしろさを考えよう。

おひゃくくじゅうたち、地主のたすきを調へよう。

おひゃくくじゅうたちのたすき	木かげのたすき	地主のたすき
	 	

今日の学習をふりかえりましょう。よくできた だいたいできた もじり

「木かげにじろり」のおもしろさをみつけようができましたか



世界の民話のおもしろさをしようかいしよう

木かげにしろり (朝せん半島)

めあて

「木かげにしろり」のおもしろさを考えよう。

この段の文は、あらかじめ紙に書いておき、貼るだけにします。

ある頁の目のことです。

それから一月ほどたった夕方

木かげはきつちり  
門までのびていた。

・門の前でねっころがっていた。  
・木かげはまちがなくなわしたたちが買ったものでございます。」

また一月ほどたった夕方

木かげはくつきり  
中庭までのびていた。

・中庭で三人がねっころがっていた。  
・木かげはまちがなくなわしたたちが買ったものでございます。」

秋風がふきはじめてきた

多方向になる

そのうち板の間までのびてきた。

一人がしろり  
二人がしろり  
三人がしろり

中庭いっぱい  
しろり  
しろり

「ちこそつの上までのびてきた。」

・おどりはじめた  
・ちこそつを全部平らげた。

地主のようす

「木かげはわしのものじゃ。入りたければ、木かげを買い取ってから入れ。」

・だまって家の中に入って行った。

・だまって家の中に入って行った。

ワークシートには木かげの絵がありますが、ここでは、言葉に着目させるため絵は入れていません。実態に応じて、絵を入れてもいいでしょう。

「とんでもないものを売ってしました」  
・頭をかかえてそのまま地べたにへたりこんでしまった。

「ちこそつを絵にかいてそなえた。」

【4 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート… 紹介カード (木かげにしろり) 活動のねらい

登場人物の状況の変化を木かげの伸びと関係付けて考え、民話のおもしろさを考えることができるようにする。

1 前時で学習したことを振り返りながら通読する。

時間の経過を表す言葉や木かげの伸びを確認しながら読ませる。

2 登場人物の関係を読み取る。

登場人物(おひやくしよつたち、地主)の行動や言葉を色分けして線を引く。  
線を引いた部分をワークシートに簡潔に書き出す。

木かげの伸びと百姓の行動、それに伴う地主の行動について発表する。

黒板に時間の経過や木かげの伸びを掲示し、児童の発言を順序立てて板書しながら、話の流れと登場人物の状況の変化が確認できるようにする。

3 「木かげにしろり」のおもしろさについて考える。

(発問)「ここが『木かげにしろり』のおもしろさだ。」という部分を考えてみましょう。

ワークシートに自分が考えたおもしろさを書く。

小グループまたはペアで、自分が考えたおもしろさを紹介し合う。

おもしろさを発言する時に、その理由についても述べさせるようにする。

おもしろさを全体の中で発表する。

おひやくしよつたちのちえや地主の立場の変化、くりかえし表現のおもしろさなど、違った視点からの意見や同じ視点でも違う感じ方をした意見を取り上げるようにする。

【評価】 百姓たちの状況の変化を木かげののびと関係付けてとらえ、民話のおもしろさを自分なりに考えることができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

登場人物の行動や会話と場面を関係付けながら読むと、登場人物の関係やその変化がよく分かることを押さえる。

世界の民話のおもしろさをしようかいしよう

木かげにころり (朝せん半島)

めあて

「木かげにころり」「しようかいカードをよりよいものに仕上げよう」

頭のいいコヨーテ (アメリカの民話)

【あらすじ】

あ ・字が少なくて一目でわかる。  
・どんな内容かわかりにくい。

い ・アヒルがどうなるか気になる。  
・最後はどうなるか知りたい。  
・コヨーテがどこに出てくるのか知りたい

う ・物語の内容が全部分かる。  
・登場人物のことが全部分かる。

あらすじはどのくらい分量で書くのか、どんな紹介にするのか、で書き方が変わってくる。

今回はこの方法で書く。

【おもしろいところ】

- ・人物の行動や会話から見つける。
- ・くりかえしや物語のしかけなど表現の仕方から見つける。
- ・一番おもしろかったところを一つ書く。

学習したこと

あらすじをしようかいカードに書くときは、( ) と中まで ( ) 書く  
と、続きを読みたくなる。

【5 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート… 紹介カード (木かげにころり) 活動のねらい

目的に応じて、「木かげにころり」紹介カードにあらすじやおもしろさを付加修正することができるようにする。

1 教師が作成した「頭のいいコヨーテ」の3種類のあらすじを読む。

\*例示したあらすじは次のような書き方で自作しています。

あ …… 人物と出来事を一文でまとめたもの

い …… 出来事を物語の前半部分(起承部分)程度でまとめ、後半部分を故意に書かないもの

う …… 出来事を場面と人物でまとめたもの

(発問) 3つのあらすじを比べてみて、あなたはどの紹介カードのあらすじを選びますか。はどれがいいでしょうか。

選んだ理由を書かせる。

あとうは、あらすじとしては分かりやすいが、紹介カードに書くときには、

「続きを読みたい」と思ってしまうという目的から、い にまとめることを確認する。

2 「木かげにころり」紹介カードを修正する。

「木かげにころり」紹介カードに書いているあらすじを「頭のいいコヨーテ」の紹介を基にして、残したいあらすじを赤で囲ませる。

書き換えた方がよい言葉があれば、修正をさせる。

3 おもしろかったところの書き方を考える。

「木かげにころり」のおもしろかった部分を、読み手(聞き手)に分かりやすくするようにまとめさせる。

紹介カードのおもしろかったところを一つにしばらせる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

あらすじの書き方を確認する。

次時は、自分が選んだ世界の民話を読んで、紹介カードを作ること知らせる。

【評価】 目的に応じて、「木かげにころり」紹介カードにあらすじやおもしろさを付加修正することができる。

めあて

「木かげに「ろり」しょうかいカードをよりよいものにしよう。」

「頭のいい「コヨーテ」(アメリカの民話)のあらすじを考えています。」

次のあいっつ二つのあらすじのうち、「この本を読みたくなるしょうかいはどれですか? えらんだ理由も書きましよう。」

あ

【あらすじ】(こんなお話です)  
助けたガラガラへビに食べられようとしたあひるが、他の動物に助けをもとめ、「コヨーテ」に助けをもらおうと話です。

い

【あらすじ】(こんなお話です)  
岩にはさまれたガラガラへビをあひるが助けると、ガラガラへビはあひるを食べてしまおうとします。「こまったあひるが助けをもとめたのは、……。」

う

【あらすじ】(こんなお話です)  
岩にはさまれたガラガラへビをあひるが助けると、ガラガラへビはあひるを食べてしまおうとします。「こまったあひるが助けを求めたのは、ロバでした。でも、ロバは助けをくれませんでした。次はウシに助けをもとめました。でもウシも助けをくれませんでした。次に、「コヨーテ」に助けを求めました。しばらく考えて、「コヨーテ」はガラガラへビをうまく岩の間にはさんで動けなくしてしまいました。」

えらんだ理由	えらんだカード

今日の学習をふりかえりましよう。 よくできた だいたいできた もつすこし

あらすじやおもしろかったことを、くふうして書きなおすことができますか

--

世界の民話のおもしろさをしょうかいしよう  
めあて

世界の民話のしょうかいカードを作ろう

しょうかいカードの作り方

本の内よつを思い出す。(本を見てもよい)  
あらすじ(こんなお話です)を書く。  
おもしろかったところを書く。  
おかしいところはないか読み直す。  
先生に見せる。  
時間があつたら、しょうかいの練習をする。

完成したカード

しょうかいの仕方

ぼくは「本の題名」(国)「」をしょうかいします。  
・ しょうかいカードをもとにしょうかいをする。  
・ 本を上手に見せながらしょうかいます。  
・ スピーチの仕方を思い出しながら(声の大きさ、しせい)  
メッセージカードに感想を書いてください。  
感想を言うてください。(一人ずつ言うてもらおう)  
ありがとうございました。次は、さんお願いしします。

次時にも使用するので、広用紙等を書いておくときよい。

【6・7 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート…紹介カード  
活動のねらい

学習したことを生かして世界の民話を読み、あらすじやおもしろさをとびえるところができるようにする。

1 世界の民話紹介カードを作る手順を確認する。(6時間目のみ)

手元に、選んだ世界の民話の本と作成した木かげにころり紹介カードを準備させ、いつでも確認できるようにさせる。  
作る手順を説明する。

本の内よつを思い出す。(本を見てもよい)  
あらすじ(こんなお話です)を書く。  
おもしろかったところを書く。  
おかしいところはないか読み直す。  
先生に見せる。

時間があつたら、紹介の練習をする。

2 世界の民話紹介カードを作る。(6時間目～7時間目)

早くできた児童のカードは黒板に掲示し、他の児童の参考となるようにする。  
\* 早く終わった児童には、紹介の練習を行わせる。

うまく書けない児童には、口頭であらすじやおもしろかったところを聞き出しながら、書かせる。

「紹介の仕方」を黒板に提示し、次時での紹介の見通しをもたせる。

【評価】紹介カードにあらすじやおもしろかったところをまとめ、紹介カードの作り方に合わせて紹介カードを書くことができる。

3 本時を振り返り、次時について知る。

6時目は意欲面について振り返らせ、7時目は紹介カードの出来栄について振り返らせる。

次時は、みんなで世界の民話を紹介し合うことを知らせる。

Blank rectangular box for student name and group information.

あらすじ（ ）（ ）なお話です

Large rounded rectangular box with seven horizontal dashed lines for writing the synopsis.

おもしろかったところ（ ）おもしろいと思ったわけも書きましょう。

Large rounded rectangular box with seven horizontal dashed lines for writing interesting parts and reasons.

世界の民話のおもしろさをしょうかいしよう  
めあて

世界の民話をみんなにしょうかいしよう

しょうかいの仕方

- ・ ぼくは、「本の題名」国「をしょうかします。
- ・ しょうかいカードをもとにしょうかいをする。
- ・ 本を上手に見せながらしょうかします。
- ・ スピーチの仕方を思い出しながら（声の大きさ、しせい）
- ・ メッセージカードに感想を書いてください。
- ・ 感想を言ってください。（一人ずつ言ってもらう）
- ・ ありがとうございました。次は さんお願いします。

へらないなたば（朝せん半島）

感想

- ・ 二人の兄弟がそれからどうなったのか知りたい。
- ・ いねがへらないのがふしぎ、読んでみたい。
- ・ 仲のよい兄弟がなぜけんかをしたのかわけを知りたい。
- ・ おもしろそうなので、読んでみたい。

友達のメッセージを読んで

- ・ 友達が読んでみたいと言ってくれたのでうれしかった。
- ・ しょうかいの仕方が上手だと言われてうれしかった。
- ・ あらすじがよくわかったと言ってくれた。
- ・ 同じ本を読んだけど、おもしろかったところがちがっていた。

友達がえらんだ世界の民話

- ・ さんねん峠（朝せん半島）
- ・ やぎとぎんのすず（ルーマニア）
- ・ ジャックと豆のつる（イギリス）
- ・ スーホーの白い馬（モンゴル）



教師があらすじとおもしろかったところを紹介する。

こんな言葉を使ってみよう

【8 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート…紹介カード（自分が書いたもの）  
メッセージカード  
活動のねらい

完成した世界の民話紹介カードをグループで紹介し合い、友達が選んだ民話に興味をもつことができるようにする。

1 紹介の仕方を確認する。

前時に提示していた「紹介の仕方」に沿って、教師が「へらない稲束」を紹介する。（紹介する民話は、児童が読んでいないものがよいでしょう。）  
感想は板書し、グループでの交流の参考にする。

2 選んだ民話の紹介をする。

グループごとに紹介を行う。  
うまく感想が書けない児童に対しては、教師が聞き取りをしながら書かせる。  
紹介が早く終わったグループは、紹介された本を互いに読ませる。  
グループの代表者が学級全体の場で紹介を行う。  
多くの民話のおもしろさに触れさせる。

【評価】世界の民話のあらすじやおもしろさに着目し、紹介された民話に興味をもつことができる。

3 友達からのメッセージを読み、紹介し合った感想を発表する。

友達が紹介をしっかりと聞いてくれたことを押さえ、交流することの良さを味わわせる。  
学級全体の場で数名に紹介をさせ、多くの世界の民話に興味をもつことができるようにする。

4 本時を振り返り、次時について知る。

紹介したことや友達の紹介を聞いて思ったことを振り返る。  
\* 友達から紹介されて興味をもった本をこれから読んでいくように促す。  
次時は、単元のまとめをすることを知らせる。

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

( )  
( )  
)さんへ  
( )  
( )

世界の民話のおもしろさをしようかいしよう  
めあて

「世界の民話のおもしろさをしようかいしよう」の学習をふりかえろう

ためになったこと・生かせそうなこと

- ・カードを作ったが上手に書けるようになった。
- ・今まで民話を読んだことがなかったけど、たくさん読んだ。
- ・あらすじと感想は、分けて書くことが分かった。
- ・どの民話にもおもしろさがあることがわかった。
- ・友達としようかいし合うと楽しい。 など

読みたくなった本や読んでみた本

- ・さんねん峠
- ・三つのオレンジ
- ・スーホの白い馬

児童のワークシートの記述から、本を選んだ理由を聞きながら、板書するといいです。

学習したこと

場面のうつりかわりと登場人物のようすを考えて読むことができた。

物語のおもしろさを考えながら読むことができた。

紹介する本が読みたくなるようなあらすじを書くことができた。

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート…  
活動のねらい

世界の民話に対して関心を高め、友達が紹介した民話の中から意欲的に読書するようにする。

1 単元全体を振り返って、学習したことについて自己評価をする。

ワークシートで、本単元で学習したことについて自己評価をする。

\* 紹介がうまくできなかった児童に対しての支援は、次のような手だてを取ることで紹介する活動になれさせる。

- ・朝の会・帰りの会などで読書紹介を行う機会を設ける。
- ・場面の移り変わりや人物の関係などの読む視点を与える。 など

2 この単元の学習を振り返っての感想を書き、発表する。

学習を通してためになったことなどを振り返らせるようにする。

友達の紹介を聞いて読みたくなった本や読んだ本について紹介し合うことで、さらに読書への意欲が高まるように励ましていく。

【評価】世界の民話など読書に対して関心を高め、友達が紹介した民話の中から意欲的に読書しようとしている。

3 世界の民話の読み聞かせを聞く。

児童が紹介した本の中から一冊を選び、読み聞かせを行うことで、世界の民話への関心がより高まるようにしたい。



## 世界の民話ブックリスト

	本の題名	国	読んだ	しょうかい したい
1	世界の民話(上)			
2	世界の民話(下)			
3	ポルコさま ちえばなし	スペイン		
4	ライオンとやぎ			
5	イギリスとアイルランドの昔話	イギリス・アイルランド		
6	トルコの昔話	トルコ		
7	ガラスめだまときんのつののヤギ	ベラルーシ		
8	グリーンマン	イギリス		
9	ぞうの王子	北欧(おう)		
10	かものむすめ	ウクライナ		
11	かしこいじいさん	アルゼンチン		
12	運命の王子	エジプト		
13	やぎとぎんのすず	ルーマニア		
14	うるわしのセモリナ・セモリナス	ギリシャ		
15	ほしになつたりゅうのきば	中国		
16	金のたまごをうんだがちょう	ギリシャ		
17	シンデレラ	グリム童話(ドイツ)		
18	ジャックはいえをたてたとさ	イギリス		
19	アナンシと6ぴきのむすこ	アフリカ		
20	おこった月	アメリカ		
21	なまけもののくまさん	ロシア		
22	パンチョギ	かん国		
23	西遊記	中国		
24	あかりの花	中国		
25	はだかのおうさま	デンマーク		
26	にげろ! にげろ?	インド		
27	ヒマラヤのふえ	インド		
28	金のがちょう	グリム童話(ドイツ)		
29	はだかのおうさま	デンマーク		
30	こびとのくつや	グリム童話(ドイツ)		
31	とらとほしがき	かん国		

	本の題名	国	読んだ	しょうかい したい
32	金のさかな	ロシア		
33	さんねん峠	朝せん半島		
34	山の上の火	エチオピア		
35	三つのオレンジ	イタリア		
36	マーシャとくま	ロシア		
37	てぶくろ	ウクライナ		
38	にげろ！にげろ？	インド		
39	イギリスとアイルランドの昔話	イギリス・アイルランド		
40	ロバのおうじ	グリム童話(ドイツ)		
41	ミリー	グリム童話(ドイツ)		
42	ヨリンデとヨリンゲル	グリム童話(ドイツ)		
43	こびとのくつや	グリム童話(ドイツ)		
44	すんだことはすんだこと	アメリカ		
45	ジャックと豆のつる	イギリス		
46	3びきのこぶた(いもとようこ文絵)	イギリス		
47	3びきのこぶた	イギリス		
48	ヘンゼルとグレーテル	グリム童話(ドイツ)		
49	ヘンゼルとグレーテル(ほるぷ)	グリム童話(ドイツ)		
50	おおかみと七ひきのこやぎ	グリム童話(ドイツ)		
51	にじのみずうみ	イタリア		
52	ブレーメンのおんがくたい	グリム童話(ドイツ)		
53	太陽と月とカラス	ロシア		
54	3びきのくま	イギリス		
55	きつねとうさぎ	ロシア		
56	スーホの白い馬	モンゴル		
57	チュ・ママの台湾民話	台湾		
58	語りおばさんのインドネシア民話	インドネシア		
59	キムさんの韓国民話	かん国		
60	少女が運んだ中国民話	中国		
61	語りおじさんのベトナム民話	ベトナム		
62	オリーブかあさんのフィリピン民話	フィリピン		

	本の題名	国	読んだ	しょうかい したい
32	金のさかな	ロシア		
33	さんねん峠	朝せん		
34	山の上の火	エチオピア		
35	三つのオレンジ	イタリア		
36	マーシャとくま	ロシア		
37	てぶくろ	ウクライナ		
38	にげろ！にげろ？	インド		
39	イギリスとアイルランドの昔話	イギリス・アイルランド		
40	ロバのおうじ	グリム童話(ドイツ)		
41	ミリー	グリム童話(ドイツ)		
42	ヨリンデとヨリンゲル	グリム童話(ドイツ)		
43	こびとのくつや	グリム童話(ドイツ)		
44	すんだことはすんだこと	アメリカ		
45	ジャックと豆のつる	イギリス		
46	3びきのこぶた(いもとようこ文絵)	イギリス		
47	3びきのこぶた	イギリス		
48	ヘンゼルとグレーテル	グリム童話(ドイツ)		
49	ヘンゼルとグレーテル(ほるぷ)	グリム童話(ドイツ)		
50	さんねん峠	朝せん		
51	おおかみと七ひきのこやぎ	グリム童話(ドイツ)		
52	にじのみずうみ	イタリア		
53	ブレーメンのおんがくたい	グリム童話(ドイツ)		
54	太陽と月とカラス	ロシア		
55	3びきのくま	イギリス		
56	きつねとうさぎ	ロシア		
57	スーホの白い馬	モンゴル		
58	チュ・ママの台湾民話	台湾		
59	語りおばさんのインドネシア民話	インドネシア		
60	キムさんの韓国民話	かん国		
61	少女が運んだ中国民話	中国		
62	語りおじさんのベトナム民話	ベトナム		
63	オリーブかあさんのフィリピン民話	フィリピン		